

平成 2 9 年 度 決 算 に 係 る  
定 期 監 査 調 書

平成 3 0 年 3 月

倉吉総合看護専門学校

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	収入証紙取扱額調べ	4 頁
8	収入事務処理状況調べ	4 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	6 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	6 頁
11	不納欠損額調べ	6 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	7 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	9 頁
14	財産に関する調べ	9 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	12 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	12 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	12 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	寄附物件の受納状況調べ	13 頁
19	備品の処分状況調べ	13 頁
20	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	13 頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
21	当該年度における業務の概要	15 頁
22	学生の入退学等移動状況調べ	19 頁
23	学校卒業者の就職等状況調べ	20 頁
24	教育計画とその実績	20 頁
25	主な施設の整備状況調べ	21 頁
○	意見、要望	21 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

局（所）名	課名	係（班）名	課の主な所掌事務
倉吉総合看護専門学校			看護師・助産師として必要な知識及び技能を習得させるための事務

4 職員の定員、現員調べ

(平成30年 3月 1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当 年 度	29.4.1 現 在	当 年 度	29.4.1 現 在	当 年 度	29.4.1 現 在	当 年 度	29.4.1 現 在	
定員	2	2	20	20	0	0	22	22	
現員	2	2	20	20	0	0	22	22	育休：H30.1.13～H31.3.31 病休：H29.6.12～H30.2.9
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	30	27	0	0	31	28	外部講師27、助産学科講師1、 舎監1、育休代替1、病休代替1

5 役付職員の調べ

(平成30年 3月 1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
校長	(併) 皆川 幸久	年 0	月 11	本務 厚生病院長
副校長	中田 映子	2	11	
教務課長兼教務主幹	初田 玲子	2	11	5年
次長	(兼) 谷本 真二	7	11	出納員 中部療育園次長兼務
教務主幹	古磯 祥子	4	11	
教務主幹	野島 千恵	0	11	

6 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算見込額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
倉吉総合看護専門学校管理運営費	48,385		20,480	27,905
鳥取元気プロジェクト				
元気づくり総合戦略	1. 学生の確保	2. 教育の質の向上		
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
1. 看護職員養成施設として、優秀な入学者確保のために学校の実績や魅力を紹介し、入学定員の確実な確保を図る。				
2. 看護学科においては、看護実践力の向上を目指し「客観的臨床能力試験」「医療安全教育」「統合実習」の教育内容の充実・強化を図る。助産学科においては、地域母子保健能力の向上を目指し地域の妊産婦を対象とした健康教育の充実・強化を図る。				
(イ) 事業の実施状況				
1. 学生確保				
○オープンキャンパスの実施(8月2日(水)) 177名参加				
○県内高等学校・看護学校訪問 28施設				
○進学相談会等への参加 3回(参加者数27名+120名)				
○社会人入試PRのための資料設置依頼				
○教員による保護者・小学生等への健康教育の実施 2回				
2. 教育の質向上				
○客観的臨床能力試験の指導方法の検討及び実施				
○地域住民の協力(模擬患者)を得ながら、多重課題・業務中断の条件設定での医療安全学習の実施				
○臨床で求められる能力を身につけるため複数患者をチームで受け持つ統合実習の実施				
○地域の妊産婦を対象とした小集団教育活動の実施				
○計画的な実習指導者会議(指導法検討及び情報共有等)の実施				
○国家試験合格に向けた計画的模擬試験の実施と個別指導の実施				
イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
1. 学生確保				
○推薦入試の対象校(高等学校)を訪問し、入試情報を説明した。				
2. 教育の質向上				
○助産学科では前年度に引き続き、更年期を対象とした健康教育を企画運営した。				

## ウ 成果及び効果

### 1. 学生確保

○第1看護学科は入学試験志願者数が増加した。3学科共学生定員が確保出来た。

【過去5年間の入学試験志願者数】

年度	助産学科	第1看護学科	第2看護学科
平成30年度	45	118	28
平成29年度	36	96	31
平成28年度	36	76	41
平成27年度	39	81	53
平成26年度	55	108	38
定員	16	35	20

### 2. 教育の質の向上

○卒業後の臨床を想定した医療安全の学内演習や複数患者をチームで受け持つ統合実習は、臨床の環境理解や優先度判断及びチームでの協力体制が重要であることの理解につながった。

助産学科の更年期フォーラムの企画運営で、更年期の対象理解につながった。

## エ 課題

### 1. 学生確保

県内の高等学校卒業生数は、減少傾向が続いているが、平成27年度に県内に看護師養成施設が2校（鳥取看護大学 1学年80名定員と鳥取市医療看護専門学校 1学年80名定員）開学した。これにより、本校第1看護学科志願者の減少が予想された。平成28年度には上記のように志願者が減少し、定員割れが生じた。平成29年度以降、本校第1看護学科の志願者は増加してはいるが、主たる志願対象者である高等学校卒業生数の減少傾向は継続すると考えられ、本校第1看護学科の志願者が減少に転じる可能性は高い。

また、第2看護学科入学者の概ね9割は、県内の医師会付属看護高等専修学校の卒業生である。しかし、西部医師会付属看護高等専修学校は閉校の予定であり、中部・東部の医師会付属看護高等専修学校の学生数も減少している。

県内に看護師養成施設が増え他校と競合する状況下で、従来通りの学生を確保し育成するのは困難な環境となっている。

### 2. 教育の質向上

看護師養成施設の教員資格を有する者（専任教員）の確保が難しく、産休育休者の代替者の確保も十分できていない。近年、産休育休取得者が複数あり、専任教員が充足された状況で学校運営（教育）できていない。

また、経験の長い専任講師が医療機関に異動になり新人教員の配置が続くと、学生の指導と新人教員の指導を残されたベテラン教員が担うことになり、負担の偏りが生じる。

切れ目なく質の高い教育を行うためには、人材の確保が必要であるが学校現場では対応が困難である。

7 収入証紙取扱額調べ

(平成29年12月31日現在)

収入科目		件数	単価	証紙はりつけ額	備考
目	節				
衛生手数料	衛生手数料	182	2,600	473,200	平成30年度入試 助産学科 第1看護学科 第2看護学科 1名 1名 2名 2名
	看護師等養成施設試験手数料				
	看護師等養成施設入学科	72	5,550	399,600	平成29年度入学 助産学科 第1看護学科 第2看護学科 1名 3名 6名 2名
	看護師等養成施設卒業証明書 発行手数料	23	420	9,690	1件450円の証紙貼付 (過誤納分返還済)
	計(節)	277		882,490	
	目計	277		882,490	
	合計	277		882,490	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(平成29年12月31日現在) (単位:円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節							
衛生使用料	倉吉総合看護専 門学校授業料	1,353	12,718,200	11,167,200	0	1,551,000	看護師等養成施設設置条例	
	目計	1,353	12,718,200	11,167,200	0	1,551,000		
行政財産使用料	行政財産使用料		763,937	752,639	0	11,298	鳥取県行政財産使用料条例	
	目計		763,937	752,639	0	11,298		
	合計		13,482,137	11,919,839	0	1,562,298		

(3) 手数料

(平成29年12月31日現在) (単位:円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節							
衛生手数料	衛生手数料	9	23,400	23,400	0	0	看護師等養成施設設置条例	
	看護師等養成施設試験手数料							
	看護師等養成施設卒業証明書 発行手数料	3	1,260	1,260	0	0	鳥取県手数料徴収条例	
	目計	12	24,660	24,660	0	0		
	合計	12	24,660	24,660	0	0		

(4) 財産収入 該当なし

(5) 諸収入

(平成29年12月31日現在) (単位:円)

収入目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	目							
雑入			119	1,749,715	1,728,665	0	21,050		寮光熱水費
			3	22,832	22,832	0	0	公有財産事務取扱要領	自販機電気代
			1	171	171	0	0		複写機電気代
目計			123	1,772,718	1,751,668	0	21,050		
合計			123	1,772,718	1,751,668	0	21,050		

(6) 現金の取扱状況  
ア 現金取扱状況

(平成29年12月31日現在) (単位:円)

収入科目(節)	備考	
	収入済額(円)	件数(件)
看護師等養成施設試験手数料	23,400	9
看護養成施設卒業証明発行手数料	1,260	2
合計	24,660	11

イ つり銭の状況 該当なし

9 収入未済額調べ

(平成29年12月31日現在) (単位:円)

収入科目	区分		過年度				現年度分			収入未済額 計 A+B	未理由
	目	節	前年度以前からの繰越額	左のうち収入済額	不納欠損額	収入未済額A	収入未済額の調定年度内訳				
							26年度以前	27年度	28年度		
衛生使用料	倉吉総合看護専門学校授業料		0	0	0	0	12,718,200	11,167,200	1,551,000	1,551,000	収入年月日1月4日他で12月分授業料(1,400,600円)を含む
	目計		0	0	0	0	12,718,200	11,167,200	1,551,000	1,551,000	
行政財産使用料	行政財産使用料		0	0	0	0	763,937	752,639	11,298	11,298	収入年月日1月9日、1月15日
	目計		0	0	0	0	763,937	752,639	11,298	11,298	
雑入	雑入		0	0	0	0	1,772,718	1,751,668	21,050	21,050	
	目計		0	0	0	0	1,772,718	1,751,668	21,050	21,050	
	合計		0	0	0	0	15,254,855	13,671,507	1,583,348	1,583,348	

10 未回収促進のための取組状況調べ 該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし



1 2 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(平成29年12月31日現在) (単位:円)

負担金 予算科目 (目)	予算令運額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令等 (規約、要領等を含	備考
倉古総合看護専 門学校費	—	—	—	—	—	—	—	
新規以外のもの 目計						406,384		
合計						406,384		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし



13 工事請負費調べ  
該 当 な し

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産  
ア 土地

(平成29年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日		面積 (㎡)
行政財産	倉吉総合看護専門学校	倉吉市南昭和町15	11,220.88	234,245,095	増加				H	11,220.88	234,245,095	
合計			11,220.88	234,245,095	減少				H	11,220.88	234,245,095	

イ 建物

(平成29年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				差引		備考	
			目計面積 (㎡)	価額 (円)	増減別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記年月日		面積 (㎡)
行政財産	本館	倉吉市南昭和町15	2,664.83	276,585,000		H		2,664.83	276,585,000			
	大会議室・浴槽・機械室	"	442.39	48,848,000		H		442.39	48,848,000			
	寄宿舎	"	1,823.33	200,873,000		H		1,823.33	200,873,000			
	物干場	"	54.00	748,000		H		54.00	748,000			
	パソコン入庫・機械室	"	14.40	360,000		H		14.40	360,000			
	自転車置場	"	13.50	510,000		H		13.50	510,000			
	体育館	"	464.80	46,319,973		H		464.80	46,319,973			
	渡り廊下	"	18.14	-		H		18.14	-			価額は、体育館価額に含まれる。
	実習棟	"	395.38	68,847,043		H		395.38	68,847,043			
	渡り廊下	"	17.20	-		H		17.20	-			価額は、実習棟価額に含まれる。
	自転車置場1	"	13.50	495,000		H		13.50	495,000			
	自転車置場2	"	9.00	495,000		H		9.00	495,000			
倉庫	"	29.17	1,690,000		H		29.17	1,690,000				
計			5,959.64	645,676,016			5,959.64	645,676,016				
普通財産			-	-		H		-	-			
計						H						
合計			5,959.64	645,676,016			5,959.64	645,676,016				

ウ 山林 該当なし  
 エ 不動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機） 該当なし  
 オ 不動産 該当なし  
 カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等） 該当なし  
 キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況  
 ア 金券の受払状況 (平成29年12月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		差引	備考
		受入額	払出額		
郵便切手及び郵便はがき	43,158 円	39,700	58,798	24,060	
合計	43,158	39,700	58,798	24,060	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成29年12月31日現在)

前年度未使用枚数	購入枚数	本年度中		差引
		使用枚数	使用枚数及び金額	
39	500	枚	321枚 316,500円	枚 218

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物  
了 土地

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	
行政財産	コンクリート柱	倉吉市南昭和町15	4本	H25.2.21	H15.3.31	H25.4.1~ H30.3.31	月額・年額 6,000	6,000	倉吉市黙経寺245-6 中国電力(株)倉吉営業所長 ID:12-001616
合計								6,000	

(平成29年12月31日現在)

イ 建物

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	
行政財産	栄養実習室 自動販売機	倉吉市南昭和町15	1.1306㎡	H26.3.20	H26.3.20	H26.4.1~ H30.3.31	月額・年額 19,920	19,920	鳥取市行徳1丁目351-2 鳥取ベブシコ一ラ販売(株) 代表取締役 奥村元昭 ID:13-00180881
	図書室 複写機設置	同上	0.40㎡	H29.3.8	H20.4.1	H29.4.1~ H30.3.31	月額・年額 免除	免除	倉吉総合看護専門学校後援会 長 桑本英樹 ID:16-00165463
	第1看護実習室 会議室	同上	232.09㎡ 65.47㎡	H29.5.31	H29.5.31	H29.8.7~ H29.8.9	月額・年額	22,477	鳥取市伏野1729-5 社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 事務局 局長 前田 憲 ID:17-00047117
合計								42,397	

(平成29年12月31日現在)

(2) 物品 該当なし

16 借受不動産明細調べ 該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ  
(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場  
了 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	倉吉市南昭和町15	9.9	3,766
普通財産			

イ 異動状況  
(行政財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	減免状況	収入済額	収入未済額
		うち減免	人	うち減免	人	うち減免	人				
4月	20人	人	1人	人	21人	人	7,532円				
5月	21				21		150,640円				
6月	21				21		79,086円				
7月	21				21		79,086円				
8月	21				21		79,086円				
9月	21				21		79,086円				
10月	21	1			20		75,320円				
11月	20		2		22		82,852円				
12月	22				22		82,852円				
1月											
2月											
3月											
合計							715,540円			704,242円	11,298円

18 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

19 備品の処分状況調べ

該当なし

20 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ  
(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

現金、有価証券又は物品名	数量	金額	亡失、損傷年月日、時間	同左場所	同左概要	報告年月日	会計局の審査結果
ノートパソコン	1台	30,240円	平成29年10月16日 8時30分	倉吉総合看護専門学校 倉吉分校 事務室	平成29年4月に前任者からパソコンを引き継いだ、画面に黒点があったがそのまま使用、10月16日に使用不能となりLCDパネル交換を行った。	平成29年10月16日	審査中
合計		30,240円					

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個数
平成29年 8月31日 ～ 平成29年 11月30日	・有  ○・無	—	—



# 看護専門学校個別事項

## 2.1 当該年度における業務の概要

### (1) 学校のPR、地域貢献（主な事業に記載）

学校のPR、地域貢献を積極的に行い、学生の確保を図る。

- オープンキャンパスの実施 1回 参加者177名
- 県内高校・看護学校へ学校PRのための訪問の実施 施設数 28施設
- 社会人入学制度PRのため看護協会等への資料設置依頼
- 進学相談会等への参加 3回 参加者数 27名+120名
- 教員による保護者・小学生等への健康教育の実施 2回

志願者数（推薦・社会人含む。） ( )内は定員

年度	助産学科	第1看護学科	第2看護学科
23	43 (16)	125 (35)	31 (20)
24	52 (16)	100 (35)	48 (20)
25	38 (16)	133 (35)	47 (20)
26	55 (16)	108 (35)	38 (20)
27	39 (16)	81 (35)	53 (20)
28	36 (16)	76 (35)	41 (20)
29	36 (16)	96 (35)	31 (20)
30	45 (16)	118 (35)	28 (20)

※平成23年度から第1看護学科を定員増（定員25名→35名）

### 推薦入学・社会人入学の状況

学 科	推薦入学試験			社会人入学試験		
	募集数	推薦者	合格者	募集数	志願者	合格者
助産学科	6	3	3	3	2	1
第1看護学科	20	32	20	—	—	—
第2看護学科	3	2	2	3	4	2

### (2) 教育環境の整備

- 該当なし

### (3) 看護教育の充実

○平成23年度からの新カリキュラムの内容の充実。

#### 1) 看護学科

##### \* 客観的臨床能力試験（OSCE）の充実

平成26年度に改善したOSCEの評価表を継続活用し、学生の状況判断と援助計画とのつながりを確認・分析した。

\* 安全な看護を提供できる判断力や実践力を養うための医療安全の授業では、臨床で用いる物品を活用し、より臨床の実践状況に近い場面を想定した演習方法を導入した。

\* 複数患者をチームで受け持つ実践能力を育成するため「統合実習」でケースカンファレンスを毎日実施し、リーダー役割を意識した実習展開とした。

#### 2) 助産学科

\* 新生児の救急対応技術取得のため、「新生児蘇生法（NCPR）」研修に学生全員が参加した。

\* 地域母子保健の実践として、地域の妊産婦を対象とした分娩準備教育や更年期フォーラムを実施した。

\* 全国の助産師学校でも取り組みが少ない思春期の学童（小学校）を対象にした「命の教育」を継続実践した。

○全国的に注目されている講師を招いて魅力ある授業を実施し、教育の質の向上を図る。

助産学科 日程 平成30年1月23日  
 講演 「DVが健康に及ぼす影響」  
 講師 神戸市看護大学助産学専攻科 教授 高田昌代

#### (4) 実習体制の整備

実習体制を整備し、教育内容の充実を図る。

○実習指導者を定期的に開催し、実習指導者と教員の連絡調整をきめ細かく実施した。また、臨床指導者の指導技術の見直しを図るため「体験から学ぶための実習指導」というテーマで検討会を行った。

○看護教育への理解を深めるために、実習指導者養成講習会の講師や実習施設の研修への協力を積極的に行った。

#### (5) 国家試験対策の強化

○国家試験対策として、特別授業や模擬試験を実施し、知識の定着とエビデンス(科学的根拠)の強化を図る。

	学 科	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)	全国合格率(%)
28年度	助産学科	16	16	100.0	93.0
	第1看護学科	33	31	93.0	88.5
	第2看護学科	20	18	90.0	
27年度	助産学科	15	15	100.0	99.8
	第1看護学科	35	34	97.1	89.4
	第2看護学科	20	20	100.0	
26年度	助産学科	15	15	100.0	99.9
	第1看護学科	34	31	91.1	90.0
	第2看護学科	20	20	100.0	
25年度	助産学科	16	16	100.0	96.9
	第1看護学科	35	33	94.2	89.8
	第2看護学科	18	18	100.0	
24年度	助産学科	16	16	100.0	98.1
	第1看護学科	20	20	100.0	88.8
	第2看護学科	20	20	100.0	
23年度	助産学科	15	15	100.0	95.0
	第1看護学科	23	23	100.0	90.1
	第2看護学科	21	21	100.0	
22年度	助産学科	16	16	100.0	97.2
	第1看護学科	25	25	100.0	91.8
	第2看護学科	19	19	100.0	
21年度	助産学科	16	16	100.0	83.1
	第1看護学科	23	22	95.6	89.5
	第2看護学科	20	20	100.0	
20年度	助産学科	16	16	100.0	97.7
	第1看護学科	22	22	100.0	89.9
	第2看護学科	20	20	100.0	
19年度	保健助産学科	15	13	86.6	98.1
	第1看護学科	19	19	100.0	90.3
	第2看護学科	19	18	94.7	

(6) その他の教育

○人権教育の実施（看護学科）

ア 研修旅行（6月30日（金）） 長島愛生園見学

イ 人権関係講義の実施

講演：「インターネットと人権」

講師：鳥取県ケータイ・インターネット教育推進委員 法務省人権擁護委員 今度珠美

対象：新入生 5月11日 72名

ウ 人権社会論 聴覚障害とコミュニケーション技術（手話）の理解

講師：聴覚障害者協会

対象：第1看護学科1年生36名及び第2看護学科1年生20名

○専門的学術集会等への参加

ア 第58回日本母性衛生学会学術集会参加（10/6～10/7） 神戸市

イ 第36回鳥取県母性衛生学会学術講演会参加（1/25） 倉吉市

ウ 第11回鳥取県看護研究学会（6/24） 鳥取市

(7) スクールカウンセラーの配置（平成19年度から配置）

毎週月曜日 午後4時～5時30分 利用者数 実人員 15人 延べ40人(H30.1月現在)

(8) 教員研修の実施

日 時：平成29年8月18日

講演：「ポートフォリオとロフレクション、ルーブリックを用いたパフォーマンス評価」

講師：あじさい看護福祉専門学校 糸賀暢子

参加者：教員19名、実習指導者等36名 計55名

(9) 教員の研究・地域貢献活動等

①清水病院看護研修

講師：副校長 中田映子

テーマ：「認知症看護」

日時：平成29年11月17日

対象：清水病院看護職員 30名

②鳥取県立厚生病院院内看護研究支援

講師：教務課長 初田玲子

日時：平成29年5月13日 12組

平成29年8月26日 12組

平成29年12月2日 12組

③鳥取県立中央病院院内看護研究支援

講師：教務課長 初田玲子

日時：平成30年3月3日 講評

④鳥取県立厚生病院院内看護研修

講師：教務課長 初田玲子

テーマ：「臨床実習における基本的な学生指導」

日時：平成29年5月15日 看護師 12名

⑤倉吉市ファミリー・サポート・センター提供会員養成講座

講師：講師 宇津宮千尋

テーマ：「子どもの安全と病気／病気の子どもの世話」

日時：平成29年11月15日

対象：ファミリー・サポート・センター提供会員5名 保育士2名

⑥倉吉市立明倫小学校PTA人権教育研修会

講師：橋井美紀教務主任

テーマ：「命と人権の大切さを伝える子育て」

日時：平成29年9月15日

対象：児童保護者及び教諭50名

⑦平成29年度鳥取県看護職員実習指導者養成研修会

平成29年7月26日 実習指導の原理（母性）石尾由美教務主任

平成29年8月7日 実習指導の原理（成人）初田玲子教務課長

平成29年8月31日 実習指導の評価 石前紅子教務主任

グループワーク指導 精神：松田友子講師



2.3 学校卒業者の就職等状況調べ

(単位：人) (平成30年1月末日現在)

区分		就職						計	進学	その他	合計	備考
		県内			県外							
		公的医療機関	民間医療機関	その他	公的医療機関	民間医療機関	その他					
第1看護学科	平成25年度	19	6	—	—	4	—	29	4	2	35	
	平成26年度	17	7	—	1	1	—	26	4	4	34	
	平成27年度	13	18	—	—	2	—	33	1	1	35	
	平成28年度	15	8	—	1	3	—	27	4	2	33	
	平成29年度	15	14	—	1	—	—	30	3	—	33	
第2看護学科	平成25年度	2	13	—	1	1	—	17	—	1	18	
	平成26年度	5	13	—	—	—	—	18	2	—	20	
	平成27年度	6	12	—	—	—	—	18	—	2	20	
	平成28年度	5	12	—	—	—	—	17	1	2	20	
	平成29年度	6	12	—	—	—	—	18	1	—	19	
助産学科	平成25年度	5	2	—	1	8	—	16	—	—	16	
	平成26年度	6	3	—	4	2	—	15	—	1	16	
	平成27年度	9	2	—	2	2	—	15	—	—	15	
	平成28年度	6	5	—	4	1	—	16	—	—	16	
	平成29年度	6	2	—	3	5	—	16	—	—	16	
合計	平成25年度	26	21	—	2	13	—	62	4	3	69	
	平成26年度	28	23	—	5	3	—	59	6	5	70	
	平成27年度	28	32	—	2	4	—	66	1	3	70	
	平成28年度	26	25	—	7	2	—	60	5	4	69	
	平成29年度	27	28	—	4	5	—	64	4	—	68	

2.4 教育計画とその実績

(単位：時間) (平成30年1月31日)

学科名等	基準	第1学年		第2学年			第3学年			
		計画	実績A	計画	実績B	計A+B	計画	実績C	計A+B+C	
第1看護学科	第1学年	学 科	990	992	997					
		実習課程	135	135	135					
	第2学年	学 科	750		750	760	1,757			
		実習課程	315		315	315	450			
	第3学年	学 科	225					225	229	1,986
実習課程		585					585	585	1,035	
第2看護学科	第1学年	学 科	1,170	1,170	1,181					
		実習課程	135	135	135					
	第2学年	学 科	285		285	287	1,468			
		実習課程	585		585	585	720			
助産学科	学 科	600	626	638						
	実習課程	495	495	545						

\* 基準欄の数値は学則で定めた時間

25 主な施設の整備状況調べ

○鳥取県中部地震後の修繕（明許繰越）

工 事 名	修 繕 額 (円)	請 負 者	検 査 日	支 払 日
屋内消火栓修繕工事 (外側)	493,560	(有)山崎商会	H29.8.23	H29.10.18
屋内消火栓修繕工事 (寮内)	421,200	(有)山崎商会	H29.8.23	H29.10.18
合 計	914,760			

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

- 第1看護学科の学生定員の増により、平成25年度には第1看護学科の学生が全体で30名増加した。平成25年度に第1看護学科の講師1名が定数増となったが、奨学金や修学資金の手続き、外部講師謝金の支出負担行為、図書室の管理、寮の管理等の多くの教務事務を担っている。引き続き、教員が教育に専念できる体制を整えていただきたい。
- 平成28年度3名の育休取得講師があったが、看護教員有資格者の補充は叶わず、看護師資格を有する非常勤職員で何とか対応を行った。教育レベルを維持して専門職を育成するために、看護教員の有資格者を確保できるような人事管理・配置をお願いしたい。
- 助産学科は現在教員3名の体制で運営している。実習施設6施設のうち1施設は東部地区にある。夜間も実習施設に出向き、分娩介助の指導を行っている。また、地域での育児支援実習には教員の同行が必要であり非常勤講師をあてているが、効果的な学習支援のために教員の定数増をお願いしたい。

(2) 監査委員事務局に対する要望等 該 当 な し